

「(仮称)七ヶ宿長老風力発電事業環境影響評価方法書」に対する平成31年1月24日技術審査会の指摘事項と事業者回答

項目	審査会当日意見 (※Pは方法書のページ番号)	事業者回答 (※Pは添付資料ページ番号)
全般的事項	<p>① 対象事業実施区域は全域が蔵王高原県立自然公園内に位置しており、蔵王国定公園の緩衝地帯として、環境保全上重要な地域である。当該区域における事業の実施に当たっては、住居からの離隔等、生活環境への配慮のみならず、動植物や景観など、自然環境等への影響を十分に考慮した上で、環境影響を最小限にした風力発電施設の位置や設置基数を選定すること。</p> <p style="text-align: right;">【平野委員】</p>	<p>対象事業実施区域の選定にあたっては、文献及びその他の資料を参考に、事業地周辺における地域情報を収集し、環境への影響を極力配慮の上、法令上の規制および事業性等の観点、並びに宮城県が策定した「風力発電導入に係る県全域ゾーニングマップ」を活用しゾーニングを行っております(詳細は別紙-1ご参照下さい)。</p>
騒音	<p>② 騒音や低周波音については、国内の基準のみで評価するのではなく、平成30年10月にWHOが改訂した環境騒音についてのガイドラインなど、最新の知見を活かして評価を行うこと。</p> <p style="text-align: right;">【永幡委員】</p>	<p>頂いたご意見をふまえ、WHOが作成した環境騒音についてのガイドラインなどの最新の知見をふまえ、適切に予測・評価を行います。</p>
水質	<p>③ 工事の実施による水の濁りについては、濁水を発生させない計画だから調査を行わないということではなく、環境影響評価の項目に追加し、予測及び評価すること。また、その結果に基づき、濁水を発生させない環境保全措置を実施すること。</p> <p style="text-align: right;">【伊藤委員, 山本会長】</p>	<p>工事中に発生する濁水に関しては、国有林貸付申請手続き等に則り、工事現場から濁水を発生させない工事計画を検討しています。</p> <p>しかしながら、頂いたご意見をふまえ、地域住民の方からのご理解を得られるよう、水質の現況調査を行うとともに工事における濁水対策等を示したうえで、準備書において適切に記載いたします。</p>
地形・地質	<p>④ 対象事業実施区域は、砂防指定池や土砂災害警戒区域(地滑り)に指定された区域に隣接していることから、事業実施に伴う改変が周辺の地滑りを誘発する可能性について、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、十分な防止策等を講じられないと判断される場合は、風力発電施設の設置位置の見直しを行うこと。</p> <p style="text-align: right;">【伊藤委員】 P156, P157</p>	<p>土砂災害等に係る事項に関しましては、災害への影響を考慮し、可能な限り土砂災害警戒区域等からの離隔を確保する計画を検討します。</p>
動物	<p>⑤ 小鳥の空間飛翔密度については、100m×500mの帯状区内において風車の回転する高度を飛翔する個体を計数するなど、適切に調査を実施すること。</p> <p style="text-align: right;">【由井委員】</p>	<p>現地調査においては、各調査地点で可能な限り広い範囲のデータを収集し、調査結果をもとに100m×500mの帯状区内のデータを抽出し、定量的な予測及び評価の検討を実施します。</p> <p>鳥類の空間飛翔密度については適宜、帯状区を設定するなどして、定量的な予測及び評価の実施を検討します。</p>
	<p>⑥ 鳥類の生息密度を把握するに当たっては、なわばり記図法による調査を実施すること。</p> <p style="text-align: right;">【由井委員】</p>	<p>鳥類の生息密度に関しては、なわばり記図法の実施を検討します。</p>

項目	審査会当日意見 (※P は方法書のページ番号)	事業者回答 (※P は添付資料ページ番号)
動物	<p>⑦ コウモリ及び小鳥の空間飛翔密度を適切に把握するため、夜間調査においては、LEDライト等を用いて目視にて計測する等、適切な調査方法を設定すること。</p> <p style="text-align: right;">【由井委員】</p>	<p>コウモリ類の調査にあたっては、LEDライト等を用いて目視にて飛翔個体数を計測する調査を実施します。</p>
	<p>⑧ 一般的にコウモリは、強風時に飛翔しないことから、適切なカットイン風速を設定し、衝突リスクを低減すること。</p> <p style="text-align: right;">【由井委員】</p>	<p>コウモリ類の環境保全措置においては、今後の調査、予測および評価の結果をふまえ、準備書に記載いたします。</p>
	<p>⑨ 対象事業実施区域は、奥羽山脈沿いでブナ林等の樹洞があり、多くの希少なコウモリ等が生息又は渡りを行う地域であることから、風車の機種については、コウモリ等への影響を調査、予測及び評価した結果を踏まえ、環境保全措置を実施する上で必要な構造や機能を有したものを選定すること。</p> <p style="text-align: right;">【由井委員】</p>	<p>コウモリ類の環境保全措置においては、今後の調査、予測および評価の結果をふまえ、準備書以降で適切に予測・評価を行います。</p> <p>また、風力発電機の機種の選定に関しては、頂いたご意見もふまえつつ、音響パワーレベル、発電効率、構造強度なども含め総合的に判断したうえで選定する予定です。</p>
景観	<p>⑩ 主要な眺望点から主たる眺望方向を見た時の風車の見え方については、風車の存在による眺望阻害を適切に把握するため、垂直視野角が1度未満であっても、風車の稼働による誘目性や人間の視野角を考慮して、適切に予測、評価を行うこと。</p> <p>また、景観の予測・評価については、フォトモンタージュに加えて動画を作成して行い、その結果を準備書に記載すること。</p> <p style="text-align: right;">【平野委員】</p>	<p>景観の調査地点においては、垂直視野角1度未満の範囲においても対象として調査を予定しております。</p> <p>主要な眺望点から主たる眺望方向を見た時の風車の見え方については、風車の存在による眺望阻害を適切に把握するため、垂直視野角が1度未満であっても、風車の稼働による誘目性や人間の視野角を考慮して、適切な予測、評価に努めます。</p> <p>また、景観の予測・評価については、フォトモンタージュに加えて適宜、動画を作成し、その結果を準備書に記載します。</p>
温室効果ガス	<p>⑪ 事業の実施による温室効果ガスの排出量について、定量的な予測及び評価を行うこと。</p> <p style="text-align: right;">【山本会長】</p>	<p>事業の実施による温室効果ガスの排出量に関しては、他事例等も参考に定量的な予測及び評価を検討します。</p>
放射線の量	<p>⑫ 対象事業実施区域は、山頂のため空間線量が平地より高い可能性があることから、「環境影響評価ガイド」表2.2の「避難指示区域等での事業を実施する場合が一つの目安」の「等」に値する。また、白石市内の山頂の空間線量は高いことから、空間線量を測る必要がある。さらに、工事の実施によって地面が露わにされ、降雨等で汚染土壌が流出し、ホットスポットが形成されることから、地面から2cm程度の土壌の比放射能を測る必要がある。これらのデータを踏まえ、汚染土壌の流出によるホットスポットの形成等の影響について、予測及び評価を行うこと。</p> <p style="text-align: right;">【石井委員】 P169</p>	<p>対象事業実施区域は避難指示区域ではないほか、工事により発生する残土及び排水に関しては、すべて場内で処理及び浸透させる計画であり、放射性物質を系外に搬出・流出させない計画となっております。</p> <p>しかしながら、頂いたご意見をふまえ、地域住民の方からのご理解を得られるよう、環境影響評価項目のうち、「放射線の量」を選定のうえ、調査・予測及び評価を行います。また、調査方法等につきましては、頂いたご意見をふまえ検討いたします。</p>